

令和3年度 共同募金助成施設等への訪問調査指導の実施

共同募金助成施設等への訪問調査指導を令和3年11月に実施しました。



大阪府共同募金会では、役員、評議員、運営協議会委員で構成する調査指導部会(委員長江浦 保氏)の活動として、配分委員会委員、地区募金会の方々にも参加をいただき、助成を受けられた社会福祉協議会、社会福祉施設・団体を訪問し、共同募金の活用状況及び住民への公表等の調査指導を行っています。

寄付者である住民のみなさまにもっと助成事業を知っていただくこと、今年もこの調査指導部会活動に同行参加される方を公募(本会ホームページ、大阪府・大阪市社会福祉協議会の機関紙に掲載)し、下記日程にて訪問を実施しました。

(参加人数:本会参加者延べ23名、一般参加者延べ2名、計25名)

訪問先の社会福祉協議会、社会福祉施設・団体で共同募金がどのように役立てられているか、具体的かつ詳細にわたって説明を受け、本会委員をはじめ一般参加者からも熱心に質問や意見、感想がだされ大変有意義な時間を過ごしました。

グループ名	実施日	訪問社協、社会福祉施設・団体名	種類	所在地	本会参加者	一般参加者
Aグループ	令和3年11月12日(金)	(福)東大阪市社会福祉協議会	社会福祉協議会	東大阪市	11名	1名
		(福)ひびき福祉会 アクティビティセンターひびき	障がい福祉サービス事業(生活介護)			
Bグループ	令和3年11月15日(月)	(福)大阪市天王寺区社会福祉協議会	社会福祉協議会	大阪市天王寺区	10名	1名
		(特非)大阪被害者支援アドボカシーセンター	犯罪、事故、災害等の被害者並びにその家族及び遺贈を支援する団体			

■ 東大阪市社会福祉協議会



令和元年度共同募金による令和2年度助成金 20,540,431円

■ アクティビティセンターひびき



令和元年度共同募金による令和2年度助成金 1,900,000円
送迎用マイクロバス設置

■ 大阪市天王寺区社会福祉協議会



令和元年度共同募金による令和2年度助成金 985,305円

■ 大阪被害者支援アドボカシーセンター



令和元年度共同募金による令和2年度助成金 171,000円
被害者支援広報啓発事業費

令和3年度 共同募金助成施設等への訪問調査指導

一般参加者のご意見・ご感想

A グループ 参加者

共同募金がどのように使われているか教えていただけるということで参加させていただきました。

まず、東大阪市社会福祉協議会の助成金について説明がありました。

日頃は、社協の機関誌を通じて情報を得ているが、今回のように項目ごとに資料を用いて説明をいただき、理解を深めることができました。

そのあと、ひびき福祉会のアクティビティセンターひびき（生活介護事業所）に移動し、共同募金助成金の使途について説明があり、今回の助成金で利用者の送迎に18年間使用したマイクロバスを買い替えることができ、大変助かっています。マイクロバスは、多くの利用者が通所するのに不可欠で、利用者の方々も大変喜んでいましてと報告がありました。

施設内を見学させていただき、職員の方々が施設内を整理整頓され、隅々まで衛生管理が行き届いている室内で障がいの程度に応じた作業をされており、作業の合間には、簡単な体操を取り入れるなど健康管理に努めておられました。

今回の施設訪問で利用者の方々が明日も施設に行きたいと思う意欲、作業をする気力、健康状態を保持し生きる希望の手助けに共同募金が役立っていると感じました。これまで、共同募金が何に使われているかわかりませんでした。我々の身近なところで役に立っている「必要不可欠」な募金であると確信しました。これからも募金活動に協力していきたいと思います。（Iさん）

B グループ 参加者

共同募金助成社会福祉施設等の訪問調査指導に参加しました。

まず、大阪市天王寺区社会福祉協議会では、天王寺区の概況、社協の事業概要・活動状況や共同募金助成金の使途について詳しく説明がありました。

そのあと、大阪被害者支援アドボカシーセンターを訪問しました。

当センターは、犯罪被害に合われて困っている方々の手助けをされているところで、被害者やそのご家族などの多種多様な相談に乗り、被害者やそのご家族に寄り添った支援をされています。

私は天王寺区で保護司をしており、非行少年や罪を犯した人の立ち直りを支援する中で、被害者のことを忘れないよう諭すように心掛けていますが、今回の報告で見せていただいた犯罪被害者のご家族に寄り添う支援者の報道ドキュメントビデオを見て、悩み苦しむ犯罪被害者やご家族などの方々の気持ちを考えて非行少年や罪を犯した人に向き合っていこうとあらためて、そう思いました。

今回の訪問で共同募金の助成が、こんなところで役に立っていることがわかりました。共同募金で集めたお金がこのように役に立っていることを地元地域のより多くの方々にご理解いただけるよう発信していこうと思います。(Hさん)